

コミュニティバス改善案説明会（飯豊地区）

2011年1月18日 18:00～ 飯豊地区交流センター

北上市企画部政策企画課より、あいさつと今まで行ってきた話し合いの経緯の説明があり、その後コミュニティバス改善案説明会が開催されました。

前回までの経緯

21年度は中部病院につながということでルートを変えた。

その運行を一年間やってみた結果、運賃収入を除いた運行経費70%以上補助金で賄われた。

ほとんどが補助金で運行されている状況。

現状では、今の規模を維持していくのは厳しい。

今年度、去年の4月から乗降調査をしたり、地域への説明をしたりして今日にいたっている。

5月の時点でコミュニティバスが走っている5地区に現状説明をし、11月にこれからどういう風にするか意見交換をし、そこでの案をふまえて修正した物を持ってきた。

方針

11月に実施した地域説明会でのご意見及びその後の協議をふまえた方針は次の通り

- ・ルートは説明化のとおり（更木地区は個別に協議した結果）
- ・運賃は各地区の意見をふまえて「市街地ゾーン内利用の場合のみ150円」とする。

他は現行とおり

- ・下村発第1便は北上北中学校通学対応を考慮して、「大門～川端」フリー区間にて時間調整することとする
- ・祝祭日については原則運休（平成23年度は1週間のうち2日間運休となる週はないが、平成24年度以降両日運休の場合は木、金運行とする。

確認事項

- ・今後は定期的に各地区において利用促進を市との協働により実施し、収支率50%を目指す事と

する

- ・1年半継続して、収支率が一定基準に満たない場合には抜本的に運行のあり方を見直す
- ・運行の見直しには、路線、ダイヤの再検討、料金の値上げ、地域主体の需要に見合った規模の支線交通への切り替えを含む

運行ルートについて

乗降調査の結果利用目的が通院や買い物が8割以上で、日常生活にコミュニティバスはかかせないもので、全体の運行経費の5割まで補助金を出し、コミュニティバスを成り立たせていこうという考えになっている。

使い勝手が悪くなってしまふところもあるが、その分運行本数を減らさず利便性を高くして成り立たせていきたい。

飯豊は若干短縮となった。また、運賃の変更により、飯豊地区の値段が上がるのが不服という意見が多かった。運賃については事業者からの見直しもあるので、2月に最終報告をする。

運行時間について

一日4往復は今まで通り。ここは維持していきたい。

病院に行くついでに、買物などを午前中に終わらせたいというニーズが多く、最終ダイヤは乗客が少なかったため、時間帯を前倒しにした。生活スタイルの違いのため、遅い便も欲しいという声もある。

運行概要

やはり飯豊地区は料金の値上げについての声が多いが、逆に更木のように、高くてもいいからバスを使いたい地域もある。地域の状況によって変更していくことができるように、3ヶ月に1回はこのような場をもうけたい。また地域の人たちだ

けで検討する場を持って欲しい。

祝日は平日の3割ほどしか乗車していないが、週1本は必ずバスが走っている。利用人数に限られていくと、車両が小さくなったり、相乗りタクシーのように予約制になることも考えられる。そうはならないよう、利用促進について意見交換したい。

2月には5地区すべての案をまとめて見せる予定。施設活用など、ツールとしてのバスをお知らせしたい。特に飯豊地区は石鳥谷線、成田線など、他のバスも含めてPRできる。事業者の経営状態も良くないので、2月には方向性を話したい。

バスを使わないことには、利便性の高い交通を実現できなくなってしまう可能性があることを理解してもらいたい。

意見交換

100円 150円に値上がりした説明が欲しい
今回の資料では分かりづらいので、2月に利用する人のための資料を作ってくる。ダイヤ、料金、近くにある施設や買物をする場所などを分かりやすく示した資料を提示し、公民館などに置きたい。

利用促進とは言うが、高齢者が多いので難しい
飯豊から街、の逆を考えればお金を落としてもらう仕組みになるのではないか。中部病院があるし、おせんもある。イベントだけではなく、天候の悪い日はバスを使うなど、もう一步努力したい。たくさんのアイデアが欲しいので、一緒に考えていきたい。

地区別の目標値において、乗車したからといって、その地区の人とは限らないのではないか

住まいも聞いている。ちなみにカウント方法は、その地区の人が乗車したら1人、往復したら2人、とするものである。

冬は乗客数が多いのか

冬は、いつもほぼ満員。7月と12月を比べて、冬は1.5倍に増えている。

次の会はどのようなものになるのか

2月は利用促進を考える会。平成23年度以降の枠組みを示したい。利用促進 市の支援の見込み、が主な内容。口内などの独自のやりたい地区もあり、それぞれで交通をどうするかなど、あらかじめみなさんの知識を深めて欲しい。そのために会のスパンを示している。

事業者は4月10日にはダイヤの見直しをする方向で動いているため、本数が少なくなるところがあったり、距離も短くなるかもしれないという噂がある。2月後半にはバスの値段もダイヤも確定するので、作戦を立てておきたい。みんなで情報を共有することが大切。

